

富中だより

No. 4

令和8年7月24日

発行責任者 校長 太田 諭



令和8年度合言葉

行きたくなる 居場所がある 成長できる学校

健康・安全を守り、充実した夏休みに

校長 太田 諭

サッカーワールドカップ北中米大会がスペインの優勝で幕を閉じました。日本代表の団結力とひたむきなプレイにはたくさんの元気と勇気をもらいました。一方で、長い大会期間中に、選手がベストコンディションを保つことの難しさも実感しました。

4月に気象庁が、最高気温が40度以上となる日を「酷暑日」と定めましたが、今週は全国各地で「酷暑日」を観測するほどの暑さが記録されています。釧路では先日までなかなか気温の上がない日が続いていましたが、最近は夏らしい暑さを感じる日が増えてきました。学校でもスポットクーラーと扇風機が本格的に稼働したところです。

本日7月24日を以て令和8年度の1学期が終了しました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして多大なるご理解・ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。また、保護者の皆様におかれましては、第1回学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。結果は2学期にお知らせし、いただいたご意見につきましては、今後の教育活動推進の参考にさせていただきます。

去る7月13日(月)に「第6回体育祭」を開催しました。本来であれば10日(金)に開催する予定でしたが、あいにくの雨により順延となっていました。天気予報では月曜日の開催も危ぶまれましたが、無事開催することができました。体育祭では、5月から準備を進めてきた実行委員会を中心とした「生徒主体の運営」がなされていました。競技の準備・進行はもちろんのこと、広報係を中心としたアナウンスや、応援にいたるまで、実に生き生きと活躍する生徒の姿がありました。また、本校の体育祭の大きな目的である、「運動の得意・不得意にかかわらず、競技を心から楽しむ」たくさんの生徒の「素敵な顔」を見ることができました。保護者の皆様におかれましては、順延後の月曜日にもかかわらず、多くの方々にご参観いただき、心より感謝申し上げます。また、体育祭後のアンケートでは、50件を超える回答をいただきました。その多くが、生徒の生き生きとした姿に対する共感的・肯定的なものでした。また、競技や運営に対する建設的なご意見もいただきました。いただいたご意見は、次年度以降の体育祭に生かしてまいります。

さて、明日から生徒は8月24日まで31日間の夏休みに入ります。今年も近年の暑さを考慮し、長めの夏休みとなっています。この期間、生徒には十分にリフレッシュするとともに、計画的に過ごすことで充実した夏休みにしてほしいと願っています。

生徒にとって充実した夏休みにするためには、何よりもまず、生徒が健康・安全であることが前提です。夏休み中は、熱中症の危険をはじめ、海や山・川での事故、旅行中の交通事故、自転車乗車中の事故等、危険がたくさんあります。近年ではヒグマとの遭遇による事故も多発しています。また、SNS等インターネットを介したトラブルのリスクも高まります。生徒をそうした危険から守るのは、本人が気を付けるのはもちろんですが...家族や地域等、周囲の大人の役割でもあります。夏休み期間中に限ったことではありませんが、家庭・地域の皆様におかれましては、富原地区の子ども達の見守りをお願いいたします。同時に、生徒が周囲にSOSを出すことのできる環境を整え、SOSを受け止める準備をしておくことも大切だと考えます。

31日間、生徒がご家庭や地域に見守られ、「自立」に向かって成長してくれることを願うと同時に、8月25日の朝、元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。

+++++

思春期講座がありました！

7月15日(水)、3年生を対象に思春期講座がありました。助産院マタニティ・アイの成瀬恵院長を講師にお招きして、いのちの誕生の奇跡、人との距離やプライベートゾーンなど自分の体と心の守り方、様々な性のかたちといった、「性教育」という狭めたものではなく、広く生き方を考える「生教育」をしていただきました。最後は、人形ではありましたが、赤ちゃんの抱っこ体験もしましたよ。

生徒たちも命の大切さ、尊さを改めて感じる事ができたのではないのでしょうか。

